



特定非営利活動法人STスポット横浜

令和4年度 事業報告書

令和5年3月31日

ごあいさつ

S T スポット横浜は「アートと市民社会の新しい関係づくりを推進するとともに、アートの持つ力を現代社会に活かし、より豊かな市民社会を創出すること」を目的として活動を行っています。

コロナ禍の終息を見越しながら、2022 年度もある程度の制限を強いられる中での活動が続きました。

小劇場・S T スポットにおいては、感染症対策に万全を期すのと並行し、復調する利用団体の活動を支え続けました。中止や延期になった公演のリベンジとして活動を行い、ついに楽日を迎えたカンパニーのみなさんの笑顔に、私たちも励まされました。

地域連携事業部では、可能な限り対面での活動を探る中で、リモート環境では得られない芸術文化の意義や可能性について、スタッフ間で何度も確認しあいました。

コロナ禍の影響は芸術文化界隈に大きく残っていますが、少しずつ、新しい出会いや可能性を見出し続けています。引き続き今後とも、みなさま方からの暖かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

特定非営利活動法人 S T スポット横浜

理事長 小川智紀

目 次

施設運営・創造発信事業／創造環境事業部	2
1. S T スポットの施設運営	2
2. 自主事業	4
教育普及・交流促進事業／地域連携事業部	7
1. 教育事業	7
2. 地域事業	10
3. 福祉事業	13
事務局	18
2022（令和4）年度財務諸表	20

施設運営・創造発信事業／創造環境事業部

1. STスポットの施設運営

利用件数は少しずつ回復し増えてきたものの、新型コロナウイルス感染症によるキャンセルも数件あり、まだまだ影響は受けつつも感染症対策を講じながら利用者の安全と使いやすさを重視した施設管理運営と舞台芸術の創造拠点として、若手アーティストを中心としたサポートを行う自主公演事業等を行いました。

【表1：STスポット年間開館状況】

項目	今年度	昨年度	備考
開館日	338日※	320日※	
稼働日	230日	231日	
稼働率	68.0%	72.2%	稼働日÷開館日
プログラム数	51本	41本	
利用団体数	28団体	19団体	

※スタッフが劇場にて対応していた日数。在宅勤務にて対応していた日数を除く。

【表2：STスポット年間利用状況】

項目	今年度	昨年度	備考
STスポット総入場者数	4762人※	3,193人※	
利用団体観客数	2267人※	1,771人※	
利用団体スタッフ数	1167人	1,011人	
事業観客数	866人※	149人※	
事業スタッフ数	462人	262人	

※配信視聴数含む。

【表3：STスポット月別開館状況】

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開館日※	27	26	28	27	28	30	30	30	27	28	27	30	338
稼働日	20	4	12	5	19	23	24	19	22	25	27	30	230
稼働率	74.1	15.4	42.9	18.5	67.9	76.7	80.0	63.3	81.5	89.3	100.0	100.0	68.0
一般利用	4	1	2	0	1	4	5	2	1	1	3	5	29
自主事業他	1	2	0	0	4	3	2	2	3	1	3	1	22
プログラム数	5	3	2	0	5	7	7	4	4	2	6	6	51

【表4：STスポット稼働日内訳（種目別）】

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
一般利用	12	1	9	1	4	14	14	7	6	7	13	26	114
自主事業他	8	3	3	4	15	9	10	12	16	18	14	4	116
稼働日	20	4	12	5	19	23	24	19	22	25	27	30	230

【表5：STスポット稼働日内訳（ジャンル別）】

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
演劇	6	0	7	0	0	11	11	3	14	8	5	24	89
ダンス	2	0	0	0	3	1	0	4	5	2	14	1	32
音楽	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	5
稽古	3	2	2	4	5	9	5	8	1	14	0	4	57
撮影	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

講座・WS	8	1	0	0	9	1	1	2	2	0	0	0	24
その他	1	1	3	1	2	1	2	2	0	1	1	1	16
稼働日	20	4	12	5	19	23	24	19	22	25	27	30	230

【表6：利用団体一覧】

団体名	タイトル	利用期間
シラカン	『マがあく』	3月29日（火）～4月3日（日）
マリアッチ	『この愛しきうわずみ太郎』	4月9日（土）・4月10日（日）・4月14日（木）※稽古利用 4月15日（金）・16日（土）
令和座	『UNDER GROUND PARTY』	4月5日（火）※劇場下見 4月22日（金）～4月24日（日）
不定深度 3200	『真空中に臨む』	6月8日（水）～6月12日（日）
劇団 Q+	スーウェイ×アイランプ・カンパニー実験公演『深海のオフィーリア』	6月2日（木）※劇場下見 6月25日（土）・6月26日（日）
株式会社オフサイド	日中韓青少年文化交流事業 2022 音楽づくりワークショップ	7月15日（金）※劇場下見 8月10日（水）・8月23日（火）・9月5日（月）・10月15日（土）・11月2日（水）
虹の素	『銀河旋律』	8月30日（火）※劇場下見 9月2日（金）～9月4日（日）
劇団グラハムヘルツ	『ベイビーホールドオン！』	4月10日（日）・8月31日（水）※劇場下見 9月23日（金）～9月25日（日）
劇作家女子会。	『もしもし』『とみこのむすこ』	9月26日（月）～9月28日（水）
シラカン	『シラカンの西遊記 GO!!』	9月9日（金）～9月11日（日）※稽古利用 9月29日（木）～10月5日（水）
劇団かえる	『かえるの諸事情』～オリジナル作品 短編オムニバス～	9月17日（土）※稽古利用 10月8日（土）～10月10日（月・祝）
劇団横浜にゆうくりあ	『横浜ヘッドライトの夜』	10月21日（金）～10月23日（日）
なおこるりん	『トランス』	11月4日（金）～11月6日（日）
くろひげ	『フィラー／フェーブ』	11月22日（火）※劇場下見 12月23日（金）～12月28日（水）
to R mansion	『ミクロッパマクロッペ』『風のみた夢』	12月28日（水）※劇場下見 1月13日（金）～1月15日（日）
荒悠平と大石麻央	『400 オ』	9月6日（火）※劇場下見 2月6日（月）～2月12日（日）
ポケットがお菓子でいっぱい	『ゴッホくんの演劇展』	2月13日（月）※劇場下見 2月21日（火）～2月23日（木・祝）
劇団 Salon de 自由席	『3月におくるアイカ』	1月11日（水）※劇場下見 1月23日（月）・1月25日（水）・1月26日（木）※稽古利用 2月24日（金）・2月25日（土）
江花実里企画	『ムーンパレスの解凍法』	2月14日（火）※劇場下見 3月2日（木）～3月5日（日）
月企画	中村天音卒業研究公演『 □ 』	10月18日（火）・1月6日（金）・1月10日（火）・1月11日（水）※劇場下見 3月7日（火）～3月12日（日）
横浜芸術高等専修学校	『DOLL』	3月16日（木）～19日（日）
劇団ねこのバロン	『再びの、生きがい』※稽古利用	10月6日（月）※劇場下見 3月20日（月）※稽古利用
小野彩加 中澤陽 スペース ノットブランク	『本人たち』	3月13日（月）～3月15日（水）※稽古利用 3月24日（水）～3月31日（金）

※利用期間には特に記載がない場合は仕込み利用日を含む公演・イベント利用期間

※利用団体以外の劇場下見での来館件数6件

※利用キャンセル4件（新型コロナウイルス陽性者発生による利用中止が3件、出演者の体調不良による利用中止が1件）、内1件は日程を振り替えて実施

2. 自主事業

自主事業は、過年度から継続して『STスポットオープンデー2022 場所と音楽-劇場でつくる-#2』（横浜音祭り2022共催）、ダンスショーケース『ラボ 20#23』を実施しました。提携・協力公演では過年度より当館を利用いただいている若手アーティストを中心とした公演、また公演に関連した企画等を行いました。

劇場空間を存分に活用し、日々変化していく価値観をまなざし、表現と表現の取り巻く環境に向き合いながら試行に満ちた創作・発表を行い、自身や団体のステップアップの機会になりました。

1. 主催事業



STスポットオープンデー2022 『場所と音楽-劇場でつくる-#2』

日程：2022年10月29（土）・10月30日（日）

ディレクター：西井夕紀子 出演：西井夕紀子 Aokid 東郷清丸 ゲスト：THE PUSH
よりサシくん、マルちゃん（30日のみ）

全4回 動員：35人

「劇場をひらく」をテーマにした参加型のプログラム。ディレクターは昨年度から継続作曲家の西井夕紀子氏を、ダンサー・アーティスト Aokid 氏、ミュージシャン東郷清丸氏を迎えて開催しました。子どもも大人も一緒に、それぞれの何気ない動きや音、言葉から曲や歌、振付としてパフォーマンスへと仕立て上げ、回ごとでまったく異なるオリジナルの作品が出来上がりました。開催前に行った音源の募集や当日の様子を Instagram でのライブ配信を行うことで、来場以外の参加方法を実践することができ、様々な方法でオープンな場所とすることを試みました。



『ラボ 20#23』

日程：[オーディション（非公開）] 2022年8月4日（木）～8月6日（土）

[中間発表] 2022年11月26日（土）全1回

[関連企画／岩渕貞太ワークショップ] 2022年11月13日（日）全1回

[関連企画／涌田悠ワークショップ『からだことばで街を味わう in 横浜』]

12月20日（火）全1回

[最終発表] 2023年2月2日（木）～2月5日（日）全5回

キュレーター：岩渕貞太 参加アーティスト：asamicro／Ne Na lab（杉本音音・遠藤七海）／森本圭治 動員：118名（関連企画12名 中間発表13名 最終発表93名）

コンテンポラリーダンスにおける若手作家の発掘・育成を目的としたダンスショーケース



企画。今回はダンサー・振付家の岩渕貞太氏をキュレーターに迎え、オーディションで選出した3組の上演を行いました。(4組選出したが1組参加辞退)各アーティストは表現したいけどまだ言葉や形にしきれない作品の根幹の部分をキュレーターやスタッフ、他参加者とコミュニケーションをとりながら時間をかけて創作を進めていくことで、丁寧にあたためながらそれぞれの表現方法を見つけ、挑戦することができました。今回は関連企画としてキュレーター岩渕貞太氏のワークショップと前回#22 アワード受賞者 涌田悠氏のワークショップも開催し、発表以外の形でも観客に参加してもらえる機会を設けることで企画の周知につながりました。

2. 共催・提携・協力事業

(1) **協力** 「演劇の手前」オープンワークショップ 2022



[カラダ (ダンスの手前)] 2022年4月4日・4月11日・4月18日・4月25日*すべて月曜

[コトバ (演劇の手前)] 2022年4月5日・4月12日・4月19日・4月26日*すべて火曜

全8回 参加者数 54人



(2) **提携** 木村玲奈+萩原雄太『ダンスと演出研究会』

2022年7月2日(土)~7月4日(月) / 7月22日(金)・7月23日(土) ※オンライン実施
/ 8月19日(金)~8月21日(日)

実施日数 8日間(発表回数1回) 動員 10人



(3) **提携** 屋根裏ハイツ『戯曲を遊びたおす研究室』

2022年8月14日(日)~8月17日(水)



実施日数 4日間(発表回数1回) 動員 13人

(4) **協力** Aokid『経過いな時間たち』

2022年9月20日(火) 全1回 動員 16人



(5) **提携** チーム・チープロ『京都イマジナリーワルツ』(YPAM フリンジ 2022 参加)

2022年12月1日(木)~12月5日(月) 全7回 動員 118人

(6) **提携** かもめマシーン『俺が代』(YPAM フリンジ 2022 参加)

2022年12月9日(金)~12月13日(火) 全7回(公演5回・関連企画2回) 動員 206人



(7) **提携** 屋根裏ハイツ『父の死と夜ノ森』

2023年1月19日(水)~1月22日(日) 全6回 動員 209人

(8) **協力** Aokid 個展「空をおこして」「顔をみせて」

2023年2月16日(木)~2月20日(月) 全5回 動員 50人



(9) **協力** 6steps『6steps を置いてみる①S T スポット編』

2023年2月27日(月)~3月1日(水) 全3回 動員 37人

【表7：主催事業一覧】

公演名	期間	入場料 (円)	回数 (回)	動員 (人)	出演者のべ (人)	スタッフのべ (人)
ST スポットオープンデー2022 『場所と音楽-劇場でつくる-#2』	2022 年 10 月 29 日 (土) ・ 10 月 30 日 (日)	500	4	35	26	0
『ラボ 20#23』 関連企画ワークショップ	2022 年 11 月 13 日 (日) ・ 12 月 20 日 (火)	1,000	2	12	3	0
『ラボ 20#23』 中間発表	2023 年 11 月 26 日 (土)	0	1	13	11	1
『ラボ 20#23』 (最終発表)	2023 年 2 月 2 日 (木) ~ 2 月 5 日 (日)	2,500~3,000	5	93	38	34

【表8：共催事業一覧】

公演名	期間	入場料 (円)	回数 (回)	動員 (人)	出演者のべ (人)	スタッフのべ (人)
木村玲奈+萩原雄太『ダンスと演出研究会』	2022 年 7 月 2 日 (土) ~ 7 月 4 日 (月) / 7 月 22 日 (金) ・ 7 月 23 日 (土) ※オンライン実施 / 8 月 19 日 (金) ~ 8 月 21 日 (日)	1,000	1	10	12	0
屋根裏ハイツ『戯曲を遊びたおす研究室』	2022 年 8 月 14 日 (日) ~ 8 月 17 日 (水)	0	1	13	40	8
チーム・チープロ『京都イマジナリーワルツ』	2022 年 12 月 1 日 (木) ~ 12 月 5 日 (月)	2,000~3000	7	118	13	73
かもめマシーン『俺が代』	2022 年 12 月 9 日 (金) ~ 12 月 13 日 (火)	1,500~3000	5	206	11	50
屋根裏ハイツ『父の死と夜ノ森』	2023 年 1 月 19 日 (水) ~ 1 月 22 日 (日)	2,500~3,000	6	209	76	25

【表9：協力事業一覧】

公演名	期間	入場料 (円)	回数 (回)	動員 (人)	出演者のべ (人)	スタッフのべ (人)
『「演劇の手前」オープンワークショップ 2022』	2022 年 4 月 4 日 (月) ・ 5 日 (火) 11 日 (月) ・ 12 日 (火) ・ 18 日 (月) ・ 19 日 (火) ・ 25 日 (月) ・ 26 日 (火)	500~1,000	8	54	16	0
『経過いな時間たち』	2022 年 9 月 20 日 (火)	3,000	1	16	8	0
Aokid 個展「空をおこして」「顔をみせて」	2023 年 2 月 16 日 (木) ~ 2 月 20 日 (月)	0	5	50	7	0
6steps を置いてみる① S T スポット編	2023 年 2 月 27 日 (月) ~ 3 月 1 日 (水)	0	3	37	8	2

教育普及・交流促進事業／地域連携事業部

1. 教育事業

横浜市文化観光局、横浜市教育委員会、横浜市芸術文化振興財団と協働して、文化施設・芸術団体と市内の小・中・義務教育・特別支援学校が連携して芸術文化の取組みを行うために「横浜市芸術文化教育プラットフォーム」を設置し、事務局代表団体として事業の進行管理を行いました。

学校現場に対する直接的な取組みとしては、一部、令和4年度文化庁「文化芸術による子供育成推進事業－芸術家の派遣事業＜学校申請方式＞」を活用しながら、横浜市の事業と連動して、小学校・特別支援学校11校にてコーディネートを行いました。



1. 学校と文化施設・芸術団体の連携による基盤整備

令和4年度横浜市芸術文化教育プラットフォーム事務局の運営の一環として、学校において子どもたちが創造的な体験をできるプログラムを、コーディネーター、アーティストおよび教師が協力して実施できるように具体的な調整を行い、適宜学校やアーティストからの相談を受けました。また、過去の実績の蓄積や、広報（記者発表、ニュースレター発行、独自ドメイン取得によるホームページ運営）を行いました。あわせて令和5年度実施に向けての要項・募集案内を作成し、横浜市内の市立小・中・義務教育・特別支援学校に広報を行いました。

また令和4年度は、横浜市の音楽の祭典、横浜音祭り2022と連動し「体験型スペシャル版」として実施回数を拡充した取組（6校）の運営も行いました。

このほか、教師および文化芸術関係者等のためのワークショップとして実施した内容は、次のとおりです。

（1）教師のためのワークショップ（美術）

日時：2022年7月22日、14：00～16：00

開催方法：Zoomによるオンライン開催（PLOT48より配信）

図画工作科美術科研修として、横浜市内の小・中・特別支援学校の主に図画工作科、美術科の教員19人が参加。横浜美術館教育普及グループ教育プロジェクトのコーディネートにより、「コミュニケーションを通じて展示を考えてみよう！」と題し、身の回りの物を用いてグループで協力して一つの展示を考えてみる研修を行いました。

（2）教師のためのワークショップ（音楽）

日時：2023年1月18日、18：00～19：30

会場：横浜みなとみらいホール

第3期授業づくり講座の一環として実施。横浜市内立小学校の個別支援学級の教員28人が参加。横浜みなとみらいホール・ホールオルガニストの近藤岳さんのファシリテートのもと、パイプ

オルガン体験やピアノの体験などを行いました。横浜市にある文化資源を具体的に体験してもらう機会となりました。

（２）教師のためのワークショップ（ダンス）

日時：2023年2月8日、15：30～16：45

会場：横浜市立戸塚小学校

横浜市特別支援教育研究会の研修として実施。横浜市立小学校の個別支援学級の教員20人が参加。ダンサー・振付家の上村なおさんのファシリテートのもと、個別支援学級の子どもたちとの身体的な関わりについて、考えを深めていきました。

（４）文化芸術関係者のためのワークショップ「コーディネーター会議」

日時：2022年7月5日、10：00～11：30

会場：瀬谷区民文化センターあじさいプラザ

学校でのプログラムを担当するコーディネーターが集まり、情報交換を行う「コーディネーター会議」を実施。総勢22人が集まり、学校の先生とのより良い協働のあり方や、アーティストとのプログラム開発について、情報交換やディスカッションを行いました。

2. 学校プログラムの実施

一部、令和4年度文化庁「文化芸術による子供育成推進事業－コミュニケーション能力向上事業－」等を活用しながら、横浜市の取組と連動させ、浅間台小学校、緑園義務教育学校、浦舟特別支援学校、上菅田特別支援学校の4校にてコーディネートを行いました。

3. 調査研究

令和4年度は、不登校状態にある児童生徒の支援機関における取組の調査研究として、横浜教育支援センター（横浜市教育委員会に設置）と連携し、ハートフルルーム南台で音楽の取り組みを実施しました。（コーディネーター：港南区民文化センターひまわりの郷、アーティスト：ルロット・オーケストラ）

【表10：学校プログラムの対象校数等】

校種	今年度	昨年度
小学校	117校	119校
中学校	14校	10校
義務教育学校	2校	0校
特別支援学校	10校	10校
合計（校数）	143校	139校
合計（人数）	12,799人	12,823人

【表11：学校プログラムのジャンル・型別実施校数】

ジャンル	体験型	鑑賞型	合計
音楽	29校	24校	53校
美術	16校	4校	20校
演劇	3校	0校	3校
ダンス	18校	1校	19校
伝統芸能	22校	26校	48校
合計	88校	55校	143校

【表12：コーディネーター一覧】

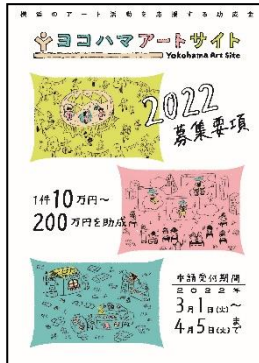
地域の文化施設（26団体）		アートNPOなど、民間の芸術団体（10団体）
青葉区民文化センター フィリアホール		Media Global
泉区民文化センター テアトルフォンテ		NPO法人子どもに音楽を
栄区民文化センター リリス		NPO法人横浜こどものひろば
神奈川区民文化センター かなっくホール		NPO法人芸術家と子どもたち
港南区民文化センター ひまわりの郷		ART LAB OVA
旭区民文化センター サンハート		民族歌舞団荒馬座
鶴見区民文化センター サルビアホール		アートの時間
戸塚区民文化センター さくらプラザ		NPO法人Offsite Dance Project
緑区民文化センター みどりアートパーク		認定NPO法人あっちこっち
磯子区民文化センター 杉田劇場		NPO法人横浜シティオペラ
大倉山記念館	急な坂スタジオ	
久良岐能舞台	象の鼻テラス	
長浜ホール	吉野町市民プラザ	事務局構成団体（2団体）
岩間市民プラザ	横浜市民ギャラリー	公益財団法人芸術文化振興財団 協働推進グループ
横浜市民ギャラリーあざみ野	横浜美術館	認定NPO法人STスポット横浜
横浜にぎわい座	横浜赤レンガ倉庫1号館	
横浜みなとみらいホール	横浜能楽堂	
関内ホール	大佛次郎記念館	

【表13：直接コーディネートを行った学校一覧】

学校名	学年	ジャンル	アーティスト	日程	回数	参加者数
浅間台小学校	5年生、個別支援学級	伝統芸能	荒井靖水（薩摩琵琶奏者）、渡邊勝代（箏奏者）	2023年1月11、12、13日	3	73
緑園義務教育学校	前期課程個別・後期課程7～9年生	音楽、ダンス	長井江里奈（ダンサー・演出家・ワークショップファシリテーター）	2022年9月5日、10月13、17、20日、11月14、28、30日、12月7日	8	52
浦舟特別支援学校	全学年	美術	EduArt（望月実音子、野村麻友）	2023年1月19、20、27日	3	8
上菅田特別支援学校	高1～3年生	音楽	飯田茂樹、福沢達郎	2022年10月26日、11月2、9日	3	15

2. 地域事業

市民やNPO団体等が主体となって、市内の地域資源を活用し、地域住民と協力して継続的な事業を行っていく文化芸術活動の支援を行いました。市全域でのネットワークづくりやコミュニティの活性化を図るため、横浜市文化観光局と協働してヨコハマアートサイト事務局を構成し、事業を進行しました。



・地域文化団体の助成金交付をはじめとしたサポート

ヨコハマアートサイト事務局として、助成金の交付対象事業を選考（申請 65 件中 33 件を採択）し、事業実施前・実施後におけるヒアリングを行うとともに、各団体の活動状況の視察を行いました。また、助成金交付を行い（助成総額：19,500,000 円）、参加団体の事業運営に関する相談に応じるなど、さまざまなかたちでサポートを行いました。

また、採択された事業などのネットワークづくりを支援するため、アートと地域のかかわりについて考える・交流する場「ヨコハマアートサイトラウンジ」を4回開催し、動画やテキストにてウェブサイト上に公開しました。また助成事業の報告会を企画しました。

これらに並行する形で、横浜の地域文化を考える・応援するための冊子「季刊ヨコハマアートサイト」を発刊し、横浜市内の多様な文化のかたちを伝えました。4冊（3カ月に1回刊行し、地域文化のサポートを目指しました。

【表14：ヨコハマアートサイト 2022 助成対象事業一覧】

団体名	事業名	実施区
アーティストネットワーク+コンパス	会社から地域へまるごとギャラリー2022	金沢区
OUTBACK	OUTBACK アクターズスクール	神奈川区、中区
任意団体アオキカク	「路上の身体祭典H!」中区プロジェクト	中区
認定 NPO 法人あっちこっち	～芸術による地域の居場所づくりの事業～おとなとこどものための芸術教室	中区
居場所「カドベヤで過ごす火曜日」運営委員会	カドベヤ・オープン DAY——つどおう・かたろう・つながろう	中区
WeTT 実行委員会	weTREES TSURUMI プロジェクト 2022	鶴見区、中区
EduArt (特定非営利活動法人申請予定)	EduArt : グローバルシティズンシップ プログラム	中区、神奈川区、港北区、西区
大岡川アートプロジェクト実行委員会	大岡川アートプロジェクト「光のぷろむなあと 2022」	南区
音楽スペースおとむすび	企画伴走プロジェクト（スプラウト）	泉区
金沢区舞台芸術サークル「潮の音」	金沢区民参加ステージ 2022	金沢区
紙芝居文化推進協議会	第 22 回手づくり紙芝居コンクール	西区、南区
黄金町 BASE	黄金町 BASE	中区
ことぶき「てがみ」プロジェクト実行委員会	ことぶき「てがみ」プロジェクト	中区
さかえ egao プロジェクト	egao フェスティバル vol.10	栄区
特定非営利活動法人シーホース工房	禅林のシンフォニーVol.2	緑区
しましまのおんがくたい	あおば支援学校音楽ワークショップ・コンサートの開催～オリジナル楽器で演奏しよう～	青葉区
STAND Still	STAND Still 性暴力サバイバービジュアルボイス	中区、南区、青葉区、戸塚区
NPO 法人スペースナナ	ひとり親や障がい児の家族の＜まちなかデビュー＞のため	青葉区

のアートプロジェクト		
蒼昊美術會	2022 広げよう！深めよう！！水彩でアートの輪！！	西区、中区
NPO 法人打楽器コンサートグループ・あしあと	ここに響く打楽器作っちゃお♪	中区、戸塚区、保土ヶ谷区、泉区、港北区、金沢区
都筑アートプロジェクト	We Love You・周縁からの発信	緑区
ティーンズクリエイション組織委員会	ティーンズクリエイション展 2022「Wakamono Arts Festival」	栄区
to R mansion	赤ちゃんと大人のためのインスタレーションパフォーマンスアート「風の見た夢」	西区
Picture This Japan	Picture This 2022：横浜インターナショナルユースフォトプロジェクト	中区、南区、鶴見区、栄区
特定非営利活動法人美術保存修復センター横浜	未来に繋ごう、皆んなの！！横浜の！！歴史・文化・芸術！！～絵画がやってきた！！～	中区
NPO 法人ふかぶか	演劇ワークショップ	緑区
まちなか立寄楽団	まちなか立寄楽団の「たちよってつくるコンサート 2022」	中区
「街のはなし」実行委員会	「街のはなし」	青葉区
横浜下町パラダイスマつり実行委員会	横浜下町パラダイスマつり 2022+よこはま若葉町多文化映画祭 2022	中区、西区、南区
横浜シネマネットワーク実行委員会	全国ミニシアター地域交流上映会 横浜×沖縄	中区
一般社団法人横浜若葉町計画	まちなかギャラリー2022	中区
ROJIURARt 実行委員会	いろいろアートの路地裏体験！ROJIURAR t（ロジウラート）	都筑区
六角橋商店街連合会	アートで繋ぐ六角橋	神奈川区、中区

【表15：ヨコハマアートサイトラウンジ・事業報告会一覧】

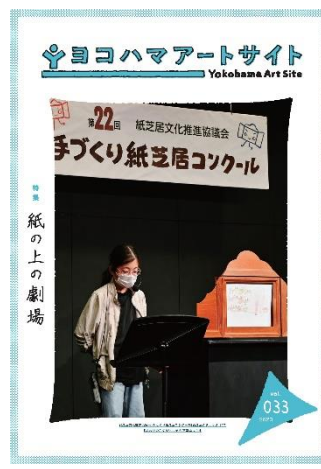
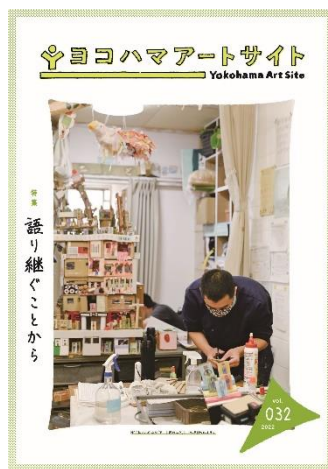
回	企画名	テーマ	開催・収録日	主な主催者（敬称略）	会場
34	『焼かれた魚』を真ん中にして聞こえてきたこと	精神障害のある人たちの演劇創作について	2022 年 9 月 24 日	花崎攝（シアタープラクティショナー、てがみワークショップファシリテーター）、鈴木伸（ことぶき共同診療所院長）、関屋光泰（ことぶき共同診療所スタッフ、東洋大学人間科学総合研究所客員研究員）	横浜市寿町健康福祉交流センター
35	森、都市、路上～生きる場所と身体の関係～※Y P A Mとの協働	身体性から考える芸術文化	2022 年 12 月 6 日	奥野克巳（立教大学教授、文化人類学者）、アオキ裕キ（新人 H ソケリッサ！主宰、ダンサー・振付家）	横浜中華街「廣東會館俱樂部」およびオンライン
36	自分が見ている世界から～インターナショナルユースとアート～	外国にルーツのある子どもたちとの関わり	2023 年 1 月 14 日	大藪順子（フォトジャーナリスト）、望月実音子（EduArt）、川添ピラル（映画監督）	象の鼻テラス
37	紙芝居から見えてくるもの	紙芝居文化とその継承について	2023 年 2 月 15 日	片岡直子（紙芝居文化推進協議会理事・手づくり紙芝居コンクール実行委員長）、刈田均（横浜市歴史博物館 副館長 主任学芸員）、鈴江夏（横浜市港北図書館 司書）	横浜市歴史博物館
報告会	ヨコハマアートサイト 2022 報告会	ヨコハマアートサイト 2022 参加事業の報告	2022 年 3 月 11 日	ヨコハマアートサイト 2022 参加団体	横浜市役所アトリウム

【表16：季刊ヨコハマアートサイト一覧】

号	特集	発行月	主に取り上げた事業や場所
31	メディアをつくる	2022 年 7 月	はま太郎、森ノオト、横浜シーサイダー、ヨコハマアートサイト 2021 報告会、地域文化の風景（宮下美穂）、尻手駅検定、アートサイトラウンジ vol. 33、春のお花の写

真展、Goozen meet me シリーズ#1 井上実×白田直紀展 ときのげー時間外ー

32	語り継ぐことから	2022年9月	NPO 法人ふかぶか、金沢区舞台芸術サークル「潮の音」、華僑研究と塾「寺子屋」、ヨコハマアートサイト 2022 について、地域文化の風景（佐塚玲子）、横浜市民ギャラリー「横浜市こどもの美術展 2022」、蒼昊美術会「みんなの夏の思い出展」、若葉町ウオーフ「まちなかギャラリー2022《くじらの夢》」、新人Hソケリッサ!「路上の身体祭典 H!」
33	紙の上の劇場	2022年12月	紙芝居文化推進協議会、NPO 法人 シーホース工房、横浜市歴史博物館、ヨコハマアートサイトラウンジ Vol. 34 「《焼かれた魚》を真ん中にして聞こえてきたこと」、地域文化の風景（関口薫）、スペースナナ「のんびりアートデイ」、EduArt「SDGsquares」、WeTT 実行委員会「WeTREES TSURUMI フェスティバル 2022」、ROJIURArt 実行委員会「ROJIURArt」
34	音楽のつながりたち	2023年3月	音楽スペース「おとむすび」、まちなか立寄楽団、しましまのおんがくたい、ヨコハマアートサイトラウンジ Vol. 35 「森、都市、路上～生きる場所と身体の関係性～」、地域文化の風景（川那辺 香乃）、都筑アートプロジェクト「WeLoveYou ～周縁からの発信」、ティーンズクリエイション展 2022「WakamonoArtsFestival」、toRmansion「風のみた夢」



3. 福祉事業

I. 「神奈川県障がい者芸術文化活動支援センター」の運営

神奈川県と協働し、障がい者芸術文化活動普及支援事業として「神奈川県障がい者芸術文化活動支援センター」を運営しました。

1. 相談支援事業

障害者やその家族、障害福祉サービス事業者等から芸術文化活動に関する相談を、メール、電話、面会などで86件受け付けました。またウェブサイトやリーフレットを作成し、支援センターおよび相談窓口の周知を行いました。発表や交流の場を求める当事者の声や、文化施設等で企画する障害者が参加しやすいイベントの周知協力などの相談が寄せられ、福祉／芸術文化双方からお互いの分野への関心の高さを感じました。また、対応時に提供した情報から具体的な活動に結びついたという相談者からの報告もありました。

2. 芸術文化活動を支援する人材育成事業

(1) 障がい者の文化芸術を支援するコーディネーターの養成

「表現の見つけ方、広げ方」をテーマに、主に障害福祉関係者を対象とした勉強会を3回開催しました。1回は収録した映像を申込者に配信するオンライン開催、2回は県内の福祉施設や文化施設を会場に対面開催し、のべ179人が参加しました。オンライン開催した回では、配信期間中に参加者や講師と感想を共有する機会として、オンライン交流会も開催し、15人が参加しました。

福祉施設間のネットワークを活用したアーティストによるワークショップの実践について参加施設職員から話をうかがったり、参加者に展示・創作を体験していただくことで、参加した人がそれぞれの所属で活動を始めるときのヒントになったのではないかと思います。対面開催した回では、参加者同士の交流も生まれ、情報交換の場にもなっていました。

(2) ワークショップ実施事業

神奈川県内の障害福祉サービス事業所等に7か所に対してのべ21回アーティストを派遣し、施設の希望に応じてダンスや音楽、美術や演劇の芸術文化体験活動を実施しました。昨年度から引き続き実施する4施設のほか、実施を希望する施設を公募で募り、28件あった応募の中から、3施設を選出して実施しました。コロナの影響による、外部とのつながりや利用者同士の関わりの減少など、福祉施設における課題の把握にもつながりました。

各実施施設とは、地域とのつながりや施設内の活動への活用など、実施後の展開についても相談しながら内容を検討しました。施設が所在する自治体の担当課や文化施設と情報交換をし、実施の様子を見学していただくなど取組みの共有を行うことで、連携体制の構築を試みました。

3. 関係者のネットワークづくり

(1) 協力委員会

障害者の芸術文化活動に造詣の深い専門家による協力委員会を設置し、2回開催しました。



会議は新型コロナウイルス感染拡大防止策として、オンラインで行いました。

（２）文化施設職員との座談会

県内の美術館やホールなど公立文化施設の事業担当者等に呼びかけ、情報交換などを行う座談会を１回実施しました。ゲストによる先行事例の紹介と施設見学を行い、障害者を含むさまざまな人が訪れる場所としての文化施設の役割や、日ごろの工夫、悩み事などを参加者間で共有しました。

４．事業の成果の発表

（１）成果報告会「地域とともに考える障がい福祉と芸術文化」

今年度の支援センターの活動報告をオンラインによる動画配信で行いました。特にワークショップ実施事業について、公募から実施につながった３施設の事例を実施施設の職員とアーティストをゲストに招き紹介しました。改めて取り組みで感じたことや、障害者と芸術活動を行う意義、今後の展望などを共有しました。また、神奈川県が取り組む障害者の芸術文化活動に関する２つの事業についても紹介しました。

５．情報収集・発信、成果報告とりまとめ

＜情報収集・発信＞

ウェブサイトを作成し、センター主催の催し等の発信を行い、周知につとめました。また、「神奈川県障がい者芸術文化活動支援センターだより」として、県内のイベントや公募の情報をウェブサイトやメーリングリストにて６回配信しました。

年度末には報告書を４,３００部作成し、県内の障害福祉サービス事業所等に配布、ウェブサイトにも掲出しました。

＜県内の芸術文化活動に係る実態把握調査・可視化＞

（１）障害福祉サービス事業所等への調査

今後の障がいのある方の芸術活動の取組の参考とするため、神奈川県内の福祉施設を対象に芸術活動の実態並びに意識の調査を行いました。調査期間は、令和４年５月２３日～６月２４日までとし、福祉施設３,６８１か所に調査票を配布、４１７か所から回答がありました。（有効回答率：１１.３％）

（２）冊子の作成

調査結果は地図やイラスト等により主要な事業所や施設の位置関係が分かるようにした冊子にまとめました。あわせて、特徴的な取り組みをしている福祉施設のインタビュー記事や、文化施設等の情報も掲載し、地域資源を顕在化しました。

■メディア掲載・シンポジウム等への登壇

＜メディア掲載＞

- ・ かながわ県のたより 令和４年１２月号 No. 813 「ともいきバトン」
- ・ ぱれっと・はだの 広報誌第７号 ２０２３年１月

<シンポジウム等への登壇>

・「南東北・北関東ブロック広域センター 第3回研修」(主催: 特定非営利活動法人エイブル・アート・ジャパン/2022年11月28日)

・「つながる! ひろがる! パラアート・ミーティング」(主催: 公益財団法人 川崎市文化財団/2023年3月9日)

【表17: 相談事業】

■相談方法

	面会	電話	メール	オンライン	問い合わせ フォーム	その他	合計
相談件数	7件	45件	28件	3件	2件	1件	86件

■居住地別

	横浜	川崎	相模原	横須賀・三浦	湘南東部	湘南西部	県央	県西	県外	不明	合計
相談件数	29件	13件	7件	0件	5件	6件	12件	2件	7件	5件	86件

■相談内容

	鑑賞につ いて	創造に ついて	発表に ついて	交流・連携 について	調査研究・保 存について	権利保護 について	人材育成 について	情報発信 について	その他	合計
相談件数	8件	13件	27件	9件	0件	6件	1件	14件	8件	86件

【表18: ワークショップ実施事業一覧】

	施設名	施種別	障害種別	ジャンル	アーティスト	日程	回数	人数
1	地域活動支援センター きたのぼ	地域活動支援センター	精神	音楽	西井夕紀子(作曲家)	2022年10月5日、11月9日、12月21日	3	20
2	児童デイサービスくれよん	障害児通所支援事業	発達	ダンス	北川結(ダンサー)	2022年11月4日、11月21日、12月20日	3	26
3	生活介護事業所 飛行船	障害福祉サービス事業所	知的	ダンス	上村なおか(ダンサー)	2022年11月4日、11月21日、12月20日	6	56
4	秦野市地域生活支援センター ぱれっと・はだの	地域活動支援センター	精神	美術	原田暁(美術家)	2022年11月11日、12月14日、2023年1月13日	3	24
5	地域活動支援センター 第3けやき	地域活動支援センター	精神	美術	金子愛帆(フォトグラファー)	2022年11月1日、11月15日、11月29日	3	28
6	スプラウト	障害福祉サービス事業所	身体、知的	音楽	尾引浩志(音楽家)	2022年9月22日、10月25日	2	19
7	リエゾン笠間	障害者支援施設	身体、知的	演劇	中村大地(作家)	2023年2月1日	1	1

【表19: 勉強会、報告会】

	企画名	日程	主な出演者(敬称略)	テーマ	人数	会場
1	福祉施設での表現活動を豊かにするために	2022年9月7～14日(配信期間)	鈴木励滋(生活介護事業所カブカブ)、浦郷大佑(第2まどか)、佐藤功気(地域活動支援センター ぼわぼわ)、清水真帆(ミコミコカンパニー)、羽田航(サポー	福祉施設の日常のなかで、表現活動がどのようにあったらよいか。横浜市旭区内の福祉施設にてアーティストによるワー	143	オンライン配信

			トセンター連)、水野智也・渡辺由香(障害者地域活動ホームあさひ)	クショッの実践を通して考える		
2	第1回勉強会 オンライン交流会	2022年9月12日	—	第1回勉強会ゲストへの質疑応答や感想など、参加者同士で共有する	15	オンライン (zoom)
3	生まれてきた表現をみんなに見てもらうには	2022年10月7日	中畝常雄(ココロはずむアート展 実行委員)、大井志津枝(横浜市桂台地域ケアプラザ 地域交流コーディネーター)	参加者のみなさんと実際に展示方法を試しながら、地域にその人の表現を伝えることを考える	14	横浜市桂台地域 ケアプラザ
4	ものづくりの楽しみ方を体験する	2022年11月7日	ドゥイ(造形ユニット)	参加者でものづくりを楽しみ、つくることを通した関わりの豊かさを体験する	22	クアーズテック 秦野カルチャー ホール
5	成果報告会「地域とともに考える障がい福祉と芸術文化」	2022年3月11日 (金)~3月31日 (木)	(1) 渡邊皇太(生活介護事業所 飛行船)、上村なおか(ダンサー・振付家)、井上久美子(児童デイサービス くれよん)、北川結(ダンサー・振付家)、鹿野絵莉子(地域活動支援センター きたのぼ)、西井夕紀子(作曲家) (2) 神奈川県共生推進本部室、神奈川芸術文化財団	今年度の事業報告をするとともに、ワークショップ実施事業のうち3事例の紹介と、神奈川県が取り組む障害者の芸術文化活動に関する事業についてお話しいただいた	55	オンライン配信

【表20：文化施設職員との座談会】

企画名	日程	主な出演者(敬称略)	テーマ	人数	会場
1 障がいの有無に関わらず、文化芸術に取り組める環境づくり	2023年2月28日	久保田陽子、和田久美子(公益財団法人 川崎市文化財団)	ゲストによる先行事例の紹介や施設見学を行い、障がい者を含むさまざまな人が訪れる場所としての文化施設の役割や、日ごろの工夫、悩み事などを参加者間で共有した。	12	ミューザ川崎 シンフォニー ホール

II. 神奈川県「ともいきアートサポート事業」業務委託

神奈川県共生推進本部室が行う「ともいきアートサポート事業」に関する業務を委託し、実行しました。

1. 「令和3年度ともいきアートサポート事業事例集」作成

「令和3年度ともいきアートサポート事業」の事例集を作成し、神奈川県に納品しました。

2. 特別支援学校・学級等教員に向けた研修

特別支援学校・学級の先生を対象とした研修を行いました。障がいのある子どもたちの学びにおける芸術文化の意義や、地域のさまざまな施設・団体等と連携することで広がる可能性を考えるオンライン講座と、ふだんから交流を持っている特別支援学校と普通学校の特別支援級の教員を対象とした美術ワークショップを行いました。

【表 21：特別支援学校・学級等教員に向けた研修】

企画名	日程	主な主催者（敬称略）	テーマ	人数	会場
1 重度重複障害のある子どもたちとの、ものを介した関わり方、楽しみ方を体験する（1）	2022 年 7 月 29 日	ドゥイ（造形ユニット）	さまざまな素材を使った創作を体験する	13	ひらしん平塚文化芸術ホール
2 重度重複障害のある子どもたちとの、ものを介した関わり方、楽しみ方を体験する（2）	2022 年 8 月 24 日	ドゥイ（造形ユニット）	教室や廊下など、学校の空間を活用して五感を刺激する	19	神奈川県立平塚養護学校
3 オンライン講座「特別支援教育×アートの可能性」	2022 年 10 月 24 日～11 月 30 日	津田英二（神戸大学附属特別支援学校 校長／神戸大学大学院人間発達環境学研究科 教授）	学習指導要領をひもときながら、障がいのある子どもたちの学びにおける芸術文化の意義を考える機会とする	40 （再生回数）	オンライン配信

事務局

法人事務局として、部門の統括を行うとともに、広報宣伝などを行いました。

1. 広報宣伝

認定NPO法人化を機に開始した寄附獲得にむけての広報宣伝等を行うとともに、レクチャー・シンポジウムなどへの出演を積極的に行い、団体および事業の広報を行いました。

【表 22：レクチャー、シンポジウム等への出演】

企画名	会場	主催等団体	日付	担当など
ネットTAM リレーコラム「アート×教育～ひろがるアート第1回」	ネットTAM ウェブサイト	ネットTAM 運営事務局（トヨタ自動車株式会社、公益社団法人企業メセナ協議会）	2022年4月1日～	高荷春菜が執筆
プレイアトラボ vol.5「地域と文化芸術をつなげるコーディネーター」	オンライン	PLAY ART! せんだい	2022年6月11日	小川智紀が登壇
アーツアカデミー 芸術文化創造活動の担い手のためのキャパシティビルディング講座	アーツカウンシル東京	アーツカウンシル東京	2022年7月22日から2023年1月16日	小川智紀がファシリテーター
シンポジウム「アウトリーチの今とこれから」	東京芸術劇場およびオンライン	地域創造	2022年7月26日	小川智紀が事例報告
まつやまアートカレッジ アートと福祉学科	愛媛大学	松山ブンカ・ラボ	2022年7月27日、10月19日、11月16日	田中真実が登壇
『障害と舞台芸術～制度と広がり』～SPT ラボラトリー レクチャー	世田谷パブリックシアター	世田谷パブリックシアター	2022年8月19日、9月9日	田中真実が登壇
「芸術文化による社会支援助成」報告会	アーツカウンシル東京	アーツカウンシル東京	2022年8月25日、2023年2月7日	小川智紀がファシリテーター
洗足学園音楽大学 音楽教育コース「アートマネジメント研究〔実践編〕」受入	STスポット	洗足学園音楽大学	2022年10月29日	田中真実が説明
南東北・北関東ブロック広域センター研修	オンライン	NPO法人エイブル・アートジャパン	2022年11月28日	田中真実が登壇
共に学び、生きる共生社会コンファレンス	浜松市福祉交流センター	認定NPO法人クリエイティブサポートレッツ	2023年1月21日	田中真実が登壇
シンポジウム「次世代の文化的なつながりを目指して」	戸塚区総合庁舎	戸塚区民文化センターさくらプラザ	2023年2月5日	小川智紀がファシリテーター

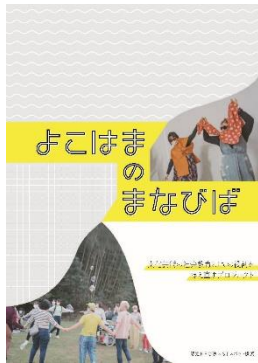
【表 23：事業の実施に関する事項：特定非営利活動に係る事業】

	STスポットを中心とした芸術文化施設の運営管理	舞台芸術を中心としたアートプロジェクトの創造発信	舞台芸術を中心としたアウトリーチや教育普及、交流促進
内容	市民に開かれた劇場として、STスポットの運営管理を行う。	アーティストと協働し、舞台芸術を中心とした創作および発信を行う。	教育、地域、福祉等の分野との協働を通して、中間支援活動を行う。
日時	通年	通年	通年
場所	横浜市	横浜市・神奈川県	横浜市・神奈川県
従事者人員	4名	4名	7名
受益対象者	主に芸術文化関係者 4,762人	主に芸術文化関係者 866人	子ども、障害者を含む一般 49,953人
支出合計額	10,778,251円	2,353,489円	85,410,650円

2. 横浜市「日中韓都市間文化交流事業」業務委託

横浜市「日中韓都市間文化交流事業」の企画運営を行いました。2022年8月～11月にかけて横浜市・中国泉州市・韓国光州広域市の学生15名を対象に、即興からめーる団（音楽ユニット）によるオンラインでの音楽づくりワークショップを全5回開催しました。合唱曲を創作・練習し、その成果を横浜音祭り2022（10月29日出演）で発表しました。それぞれの国の文化を感じながら、相互理解の促進に繋がられました。

3. 横浜市「地域の文化芸術活性化支援事業」助成事業



横浜市「地域の文化芸術活性化支援事業」の助成を受け、「よこはまのまなびば—文化芸術の社会教育としての役割を捉え直すプロジェクト」を行いました。文化芸術の役割のひとつに、さまざまな背景を持つ人たちと楽しみながら活動をとにすることがあげられます。今回は「障害のある人たちとの取り組み」「外国にルーツのある人たちとの取り組み」の2つをテーマとして、地域の人が混ざり合い、ともに活動する機会を設けることで、文化芸術が果たす社会参加への可能性、今後の文化芸術の地域での役割について検証を行いました。取り組みの成果は冊子にとりまとめたほか、事業の報告と振り返りのトークを動画で配信し、周知しました。

（1）からだであそぼう、からだをあそぼう in にいはる

日時：2022年10月23日、11:00～12:00、13:00～14:00

場所：にいはる里山交流センター

パートナー団体：NPO法人レスパイト・ケアサービス萌

医療的ケアが必要な子どもたちとその保護者のみなさんが、地域の中で安心して楽しめる時間を過ごせたらと考え、障害児者の在宅支援などを行うレスパイト・ケアサービス萌のみなさんと一緒に、企画しました。障害児やその家族、計35名が参加。ダンサーの岡田智代さんとともに誰もが持っている自分だけのからだを使って、にいはる里山交流センターの芝生や緑、空気を感じながら開放的な雰囲気を楽しみました。

（2）着物服を着てモデルになってみよう！

日時：2022年12月17日、11:00～12:45

場所：なか国際交流ラウンジ

パートナー団体：なか国際交流ラウンジ

横浜に住む外国にルーツのある人と日本人がともに自身の文化やからだと向き合い、表現活動を行う場をつくれたらと、なか国際交流ラウンジのみなさんと一緒に、企画しました。10～50代の幅広い年齢層の外国にルーツがある人15名が参加。デザイナーの伊東純子さんがアレンジしたオリジナルの着物服を身に纏うと、ダンサー・パフォーマンスアーティストの砂山典子さんと一緒に別人になった気分でポーズ。笑い声に溢れた会場で、それぞれが自分の新しい一面を発見していたようでした。

活動計算書

特定非営利活動法人 S T スポット横浜

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

科目		金額 (単位:円)		
I	経常収益			
1.	受取会費			
	正会員受取会費	140,000	140,000	
2.	受取寄付金			
	受取寄付金	50,000	50,000	
3.	受取助成金等			
	受取助成金	0		
	受取補助金・負担金	74,358,000	74,358,000	
4.	事業収益			
	事業収入	909,871		
	利用協力費	4,674,000		
	受託費	17,436,070	23,019,941	
5.	その他収益			
	雑収入	12,563		
	その他の収入	111,340		
	繰入金収入	0	123,903	
	経常収益計			97,691,844
II	経常費用			
1.	事業費			
(1)	人件費			
	給与手当	25,975,630		
	通勤費	1,326,550		
	臨時雇賃金	1,367,200		
	福利厚生費	4,227,815		
	人件費計	32,897,195		
(2)	その他経費			
	諸謝金	7,668,139		
	委託費	17,868,273		
	助成費	19,500,000		
	制作費	138,112		
	消耗品費	666,772		
	印刷費	2,909,375		
	広報宣伝費	5,331,161		
	旅費交通費	579,471		
	支払手数料	70,000		
	地代家賃	1,495,289		
	会場借上費	299,160		
	通信費	3,510,474		
	会議費	898,146		
	設備費	628,895		
	リース料	312,336		
	租税公課	1,629,546		
	その他経費計	63,505,149		
	事業費計		96,402,344	
2.	管理費			
(1)	人件費			
	給料手当	176,726		
	通勤費	7,820		
	退職給与繰出金	1,200,000		
	人件費計	1,384,546		
(2)	その他経費			
	諸謝金	555,500		
	設備緊急対策金	200,000		
	繰入金支出	0		
	その他経費計	755,500		
	管理費計		2,140,046	
	経常費用計			98,542,390
	当期経常増減額			-850,546
III	経常外収益			
	経常外収益計			0
IV	経常外費用			
	経常外費用計			0
	当期正味財産増減額			-850,546
	前期繰越正味財産額			24,819,511
	次期繰越正味財産額			23,968,965

財務諸表の注記

特定非営利活動法人 S T スポット横浜

令和5年3月31日現在

1. 重要な会計方針
財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。
(1) 消費税等の会計処理 消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。
(2) 引当金の計上基準
 - ・退職給与引当金 将来の退職金支給のため、当期末において必要であると認められる金額を計上しています。
 - ・設備緊急引当金 設備の緊急補修などに備え、当期末において必要であると認められる金額を計上しています。
- (3) 準備金の計上基準
 - ・企画連携事業準備金 今後の事業開発に向けて、当期末において必要であると認められる金額を計上しています。

2. 事業費の内訳
事業費の区分は以下の通りです。 (単位:円)

科 目	創造環境事業部	地域連携事業部	事業費計
(1) 人 件 費			
給 与 手 当	6,538,144	19,437,486	25,975,630
通 勤 費	442,854	883,696	1,326,550
臨 時 雇 賃 金	339,200	1,028,000	1,367,200
法 定 福 利 費	1,099,783	3,128,032	4,227,815
人 件 費 計	8,419,981	24,477,214	32,897,195
(2) そ の 他 経 費			
諸 謝 金	1,620,701	6,047,438	7,668,139
委 託 費	0	17,868,273	17,868,273
助 成 費	0	19,500,000	19,500,000
制 作 費	11,060	127,052	138,112
消 耗 品 費	116,085	550,687	666,772
印 刷 費	48,228	2,861,147	2,909,375
広 報 宣 伝 費	75,680	5,255,481	5,331,161
旅 費 交 通 費	8,124	571,347	579,471
支 払 手 数 料	14,500	55,500	70,000
地 代 家 賃	557,702	937,587	1,495,289
会 場 借 上 費	0	299,160	299,160
通 信 費	42,009	3,468,465	3,510,474
会 議 費	335,203	562,943	898,146
設 備 費	512,853	116,042	628,895
リ ー ス 料	312,336	0	312,336
租 税 公 課	657,278	972,268	1,629,546
そ の 他 経 費 計	4,311,759	59,193,390	63,505,149
合 計	12,731,740	83,670,604	96,402,344

3. 使途等が制約された寄付等の内訳
使途が制約された補助金等の内訳は以下の通りです。 (単位:円)

名 称	拠出元	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
STスポット運営補助金	横浜市	0	6,100,000	6,100,000	0
芸術文化教育プログラム推進事業負担金	横浜市	0	34,455,000	34,455,000	0
地域文化サポート事業プラットフォーム負担金	横浜市	0	33,000,000	33,000,000	0
横浜音祭り2022横浜市関連施設補助金	横浜アーツフェスティバル実行委員	0	250,000	250,000	0
令和5年度神奈川県マグカル展開促進補助金	神奈川県	0	553,000	553,000	0
合計		0	74,358,000	74,358,000	0

貸借対照表

特定非営利活動法人ＳＴスポット横浜

令和5年3月31日現在

科 目	金 額 (単位：円)		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金・預金			
現金	143,033		
預金	41,234,237		
現金・預金 計	41,377,270		
その他流動資産			
未収入金	1,099,700		
仮払金1	80,000		
仮払金2	1,832		
その他流動資産 計	1,181,532		
流動資産合計		42,558,802	
2. 固定資産			
投資その他の資産			
敷金	1,679,292		
投資その他の資産 計	1,679,292		
固定資産合計		1,679,292	
資産合計			44,238,094
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	164,474		
仮受金	1,832		
未払費用	1,471,152		
流動負債合計		1,637,458	
2. 固定負債			
企画連携事業準備金	1,500,000		
退職給与引当金	11,476,193		
設備緊急引当金	5,655,478		
固定負債合計		18,631,671	
負債合計			20,269,129
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		24,819,511	
当期正味財産増減額		▲ 850,546	
正味財産合計			23,968,965
負債及び正味財産合計			44,238,094

財産目録

特定非営利活動法人ＳＴスポット横浜

令和5年3月31日現在

科 目	金 額 (単位:円)		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手許現金	143,033		
住信SBIネット銀行 法人第一支店 普通	20,944,166		
三菱UFJ銀行 横浜駅前支店 普通	1,658,400		
三菱UFJ銀行 横浜駅前支店 普通	11,476,193		
三菱UFJ銀行 横浜駅前支店 普通	7,155,478		
未収入金			
神奈川県補助金	553,000		
利用協力費(2件)	546,700		
仮払金			
つり銭	80,000		
収益事業会計への仮払支出額	1,832		
流動資産合計		42,558,802	
2. 固定資産			
投資その他の資産			
敷金			
住友信託銀行(株)	1,679,292		
固定資産合計		1,679,292	
資産合計			44,238,094
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金			
源泉所得税等	164,474		
仮受金			
非収益事業会計からの仮受受入額	1,832		
未払費用			
未払消費税	630,300		
社会保険料等	840,852		
流動負債合計		1,637,458	
2. 固定負債			
企画連携事業準備金	1,500,000		
退職給与引当金	11,476,193		
設備緊急引当金	5,655,478		
固定負債合計		18,631,671	
負債合計			20,269,129
正味財産			23,968,965